

**幕張新都心モビリティコンソーシアム 第8回総会
議事要旨**

時間： 2025 年 3 月 3 日(月) 10:00～10:40

場所： オンライン

議題

- (1) 2025 年度千葉市事業
- (2) デジタルツイン実証について
- (3) 規制改革提案について
- (4) 座長の決定

配布資料

資料1 幕張新都心モビリティコンソーシアム第8回総会資料

議事内容 () は発言者

1. 開会

2. 議題

- (1) 2025 年度千葉市事業
 - 千葉市より資料に沿って説明。
 - 2025 年度は、前年度と同様に未来技術モビリティ社会実装サポート事業（①最先端モビリティサービス導入支援、②モビリティ連携システム等開発・導入支援）の補助制度を設定している。
 - 自動運転サービス実証実験については、委託として国土交通省の補助金を獲得した場合に執行できる財源として用意したもの。
 - 上記の事業については、国費を財源としているため、交付金内示結果により、変更の可能性あり。結果が分かり次第、コンソーシアム会員には連絡する。

【質疑応答】

(質問：千葉共同印刷様)

- 未来技術モビリティ社会実証サポート事業について、国の内示状況により①最先端モビリティサービス導入支援と②モビリティ連携システム等開発・導入支援のどちらかだけ行うということはあるか。
 - その予定はないが、国の内示額により、千葉市としてどちらかしか最悪できないという可能性はある。

(2) デジタルツイン実証について

■ 千葉市より資料に沿って説明。

- 本市では現実世界では実施の困難な危険なシーン等について、様々な走行条件や車両パラメータを可変させて何度も試すことができるデジタルツインを活用したバーチャル実証実験を行っている。
- 過去の事故データや実交通流データをもとに、検証効果の高い複数シナリオについて、バーチャル環境と現実環境での相互検証を行っているところ。
- 現在最終成果を取りまとめており、結果については追って公開させていただく。

(質問なし)

(3) 規制改革提案

■ 千葉市より資料に沿って説明。

- 千葉市は国家戦略特区に指定されており、世界で 1 番ビジネスをしやすい環境を作ることが目的に、既存の規制を緩和し新たなビジネス・事業展開につなげていくことが可能となっている。
- 過去にも様々な規制緩和提案等を行っており、ぜひとも皆様に本制度を活用していただきたいと考えている。

【質疑応答】

(質問：千葉共同印刷様)

- どのような規制や法律であったら緩和されるかが民間ではわからないが、千葉市に相談すれば緩和の可否などについて判断いただけるか。また、千葉市としてこのコンソーシアムで規制緩和を進めていきたい事項などはあるか。
- これまでの経験等から規制緩和の可否についてはある程度判断できるので、何か少しでも引っかかるようなことがあればご相談いただきたい。また、このコンソーシアムで具体的に進めたい規制緩和の内容はないが、先端的なモビリティの取組みを行っていくうえで障害となる規制があれば、本コンソーシアムで検討を進めながら取り組みたいと考えている。

(4) 座長の決定

- 千葉市より、来期の座長は今期と同様、東洋大学国際学部国際地域学科の岡村敏之教授に 2026 年 3 月 31 日までの任期で再任することを提案。
- 賛成多数で可決

3. 連絡事項

- 事務局より、以下の点を説明。

- 本日の資料及び議事要旨の千葉市ホームページへの公表について説明。
- 2025 年度総会開催時期について、6 月ごろに中間まとめ報告会を、来年 3 月に第 9 回総会を開催する旨説明。
- 次年度のコンソーシアムへの参加意向について近日中に行う旨説明。

4. 閉会

以上